

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着サービスの意義を職員全員で確認し、地域の方と交流を含め、皆さんに愛されるホームを目指し、利用者様の笑顔を引き出すお手伝いが出来るよう理念を作り上げました。そのために、毎日の申し送りで確認をしています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	笑顔を引き出すお手伝い・・・として、レクレーションや利用者様の笑顔が見られる可能性のあるイベントを多く計画しております。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	リビングや面談室に理念の掲示物があり、実践はアルバム等で写真を見て頂いたり、レク計画表を送付したり、参加ご案内をしています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方と気軽に挨拶や会話をしており、町内清掃や草刈、資源回収に参加しています。又、ホームでの行事などにも声かけし、参加して楽しんで頂いています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の方やお子さんが自由に遊びに来られます。習字を習いに来られる子供さんもみえ、又、囲碁を打ちに来られるお子さんもいます。又、公民館行事、ダンス教室、初詣、どんど焼などに参加しています。	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームだより年3回発行しました。 ・運営推進会議等で災害対策への協力を呼びかけ、避難訓練の案内を出しています。 ・ターミナルケアについて折にふれユニット会で話し合っています。 	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で取り上げられた検討、懸念事項について経過を報告しあい、さらなるサービス向上に取り組んでいます。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議になるべく多く、多岐に渡り、出席して頂く事で、協力や助言を頂き、サービスの質の向上に努めています。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加できるものは学習し、その資料や内容をミーティングやユニット会議などで全員が学ぶ機会を作っています。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待について学習する機会はありませんが、現時点では当ホームでは全くない為、今後も防止に努めたいです。</p>	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前の面談時や契約時に不安に思われている内容等お伺いしてゆっくりご説明を行い、ご理解を得ています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コミュニケーション時などの会話の中から、不満や要望などが見受けられた時には、個別対応し可能な限り改善へ向け反映させています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	急を要する場合には、管理者やスタッフが直接ご家族に電話にて報告させて頂いている。又、月に一度、生活の様子をお伝えする手紙と金銭についても領収書を一緒に郵送しています。	○ ホームからの情報提供として、年3回公報をお送りしています。(多治見だより)レクレーション、行事等でご本人の様子を写真に撮り、アルバムを作って見て頂いています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に意見箱を設置地しております。又、面会時にスタッフと話しをしたり、運営推進会議に出席して頂き、意見を頂いております。又、入所時と年2回アンケートを配布し、意見を聞き、改善したりしています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、ユニット会議、リーダー会議の場において発信や提案をしています。又、年に1回、BS法による職員の気づきや介護に対する考え、思いを把握し、職員の意見の反映に努めています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は、状況に応じた対応が出来るよう、シフトになるべく入れず、利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれています。病院受診等、ご家族に協力し、可能な限り職員で対応に努めています。	

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	<p>日帰りバス旅行を実施し、利用者さんより好評を頂き、ご家族にもとても喜んでもらえた。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	<p>短時間でも休憩し体を休めるため、あんま機を設置し、一日に1回は座ってもらえるよう配慮しています。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	<p>職員の資格取得に向けた支援を行いながら、QC活動等を通し、利用者様がどんどん元気になれる姿等を実感することで、更なる向上心につなげるための実践をしています。</p>

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にご本人と会う機会を作ったり、訴えを聞く機会を作っています。又、利用前に体験入居する機会を作っています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の方の話を聞く中で少しでも不安な部分が軽減されるように一緒に考えたり、入居前にホームを利用して頂く機会を作り、安心して頂けるよう努めています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の気持ちを大切にサービスを検討しています。生活歴も生かした支援に努めています。	○	特にご本人の生活歴や趣味を大切にしており、その方が楽しく過ごして頂けるための支援ができるように努めています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者様本人、ご家族の気持ちを大切に、お茶やおやつの時間などを利用して体験入居をしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活の中でご自分で出来ることはして頂くようにしており、共感し一緒に喜んだり楽しんだりするようにしています。	○	職員が業務をこなすだけの仕事と感ずるのではなく、生活を共にする家族として自立支援の立場で見守り、喜怒哀楽を共感できる支援に努めています。

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームの行事やレクリエーションには、なるべく参加して下さるように面会時に声かけしたり、1ヶ月のレクリエーションの予定表を郵送するなど、一緒に楽しんで頂けるよう働きかけています。	○	利用者様の様子をおたより、アルバム等で根気よくお知らせすると共に、利用者様、ご家族、スタッフが協力し合って楽しめる行事計画に努めています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームで穏やかに日々楽しく生活して頂いている様子を写真で見て頂いたり、1ヶ月毎に様子をお知らせする手紙を郵送し、理解を深めて頂けるようにしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのスーパーや近所の美容院を利用したり、近所の方や友人の面会もあり、心おきなく過ごして頂けるよう支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い利用者様同士でももちろんですが、そうでない者同士でもスタッフが間に入ることで、良い関係が築けるように配慮しています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居者も、その後の様子をご家族の方から伺ったり、相談を受けている。入院された場合でも面会に何度も伺って、様子を知ったり家族の方の支えになれるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や御本人、家族の希望に添う生活支援に努めています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴等を知るため、ご本人やご家族からお話を伺うことで把握に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様一人ひとりの生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から感じ取り、本人の全体像を把握しています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	モニタリング等を行うことで、その方にどのように係わり合い支援していくのか、スタッフ全員が統一介護に向けて努力しています。	○
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況変化がある場合は、カンファレンスを開き、必要があればモニタリングし、それを元にご本人、ご家族と話し合い、計画書の変更をしています。	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や日誌、申し送りシートを通して、情報の共有を行っている。それから見えてくる支援内容について話し合い実践しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かして、その利用者様にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援、医療措置を受けながら生活の継続をしております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方達には行事の参加、花植えなどにも協力して頂き、又、地域学校の資源回収などにも参加させて頂いています。	○	運営推進会議やホーム活動に参加して頂く事で、理解や協力を得られるよう努めている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特養への申請、入院され医療行為が必要となった場合、地域TPマネに相談し、ご本人・ご家族のバックアップをしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議等にも出席して頂き、ホームの現状を理解して頂き、いつでも連携体制がとれるよう働きかけています。地域公民館でのサークル活動に参加したり、近隣事業所の温泉風呂を利用させてもらっています。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	NSや薬剤師に会議やカンファレンスに参加して頂き、知識や相談、アドバイス等の指導を得ています。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	スタッフにも医療の知識を学ぶ機会を増やしたい。今後の最も大きな課題であると認識しており、学習を充実させる必要性を感じている為、折にふれて話し合っている。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	ご家族の希望等考慮しながら、ホームでの支援を可能な限り受け入れる体制を整えていますが、今までの所、医療発生と共に病院へ移られる方が多くなっています。

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	アセスメント、ケアプランや支援状況等を手渡すと共に、情報交換を行い、馴染みの職員が機会を作り、訪問に行くなど、住み替えのダメージを防ぐことに努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳を傷つけるような声かけは行わないようにしています。記録や書類等をご家族以外にお見せしない、見られない配慮をしています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人が楽しく自発的に参加される行事を計画し、参加して頂くために、生活の中で散歩や家事、畑の手入れ等で体力維持に努めています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物、散歩、フットマッサージ等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応しています。出来る限り、ご本人のペースに合わせて物事を行っています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	現在は女性の方は、近所の美容室を利用して頂いています。又、外出時は普段よりおしゃれをして出かけて頂き気持ちの変化をつけるようにしています。	○	外出時等お化粧品やおしゃれして出かけられるよう支援したり、美容院では自分の意志でヘアスタイルを決められるように努めています。

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>外出、外食レクでは、普段食べられない物や、ご本人が希望される物を召し上がって頂き、楽しんで頂けるよう支援しています。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>お友達と一緒に入浴されたり、変化のあるお湯に入ったりして楽しみを増やすよう支援し、希望者を温泉に同行し、楽しんで頂く事への支援を行っています。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	馴染みのカバン、財布等をご家族に協力して頂き、自分でほしい物を買って、レジで自分で支払い、おつりをもらう支援を行っております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物がしたい、喫茶店・外食に行きたいとの希望やほしい物がある時など、天候にも配慮しながら、なるべくスタッフが付き添い希望に添うように支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	他のフロアーの方達と一緒に外出レクを行ったり、日帰りではあるが、温泉へ出かけてみたりと、遠出をする機会を作っています。	○	利用者様の思いを実現する為の方策を職員同士で検討し、支援につなげており、又ご家族にも参加して頂く機会を増やして行けたら良いと考えています。(外出レク)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と相談してご本人の希望があれば電話をして頂いています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	住んでおられた近所の方など気軽にホームへ来られ、一緒にお茶を召し上がって頂いています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修で学んでおり、又、フロアーにはスタッフがいつでも目にする事ができるよう資料を置いてあります。カンファレスや学習会でスタッフ間で話し合い、統一介護に努めています。		

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (2F)


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクアセスメントを作成し、病状や身体状況・環境面・内服薬からみられるリスクを考え、ご家族に説明し協議しながら対応しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを毎日2回行っており、様子観察し、職員が把握し対応できるよう申し送りを行い、情報の共有をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の種類・効用・副作用からくるリスクを把握し、早期に異常を発見できるよう努めています。又、誤薬の際には掛かりつけ医に連絡を取り、指示を仰いでいます。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、牛乳を飲んで頂いたり、水分を多くとって頂くようにしている。便秘傾向の方には排泄チェック表にて確認し、水分摂取量への配慮を行っています。毎日、起床時に体に良い水（波動水）を200cc位を目処に飲んで頂いたり、適度な運動を心掛けています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を全ての職員が事業所内の研修で理解し、肺炎を予防するよう努めています。義歯の方は、毎日ポリデント消毒を実施しています。毎食後の口腔ケアも一人ひとりの力に応じた歯磨きの手伝いを支援しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の立てた献立で、調理を行っている。形状や量も個人に合わせて調理している。毎朝起床時に冷水をに飲んで頂いている。	○	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有しています。ご自分で飲みたい時にいつでもお茶が飲めるようにテーブルに急須と湯のみが配置されています。

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルがあり、感染予防や二次感染対策を行えるミーティングにて学習しています。手洗い・うがいの励行・ハイターを希少し、拭き掃除を行っています。薬剤師による学習会を充実させ、スタッフ間で共有し、予防に努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきんやまな板など、ハイターにて消毒を行っています。又、買い物担当者が決められており、日付等注意しています。又、週に1回冷凍庫内の整理・掃除を行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターに四季折々の花を利用者様と一緒に植え替えて、飾るなど温かさを感じて頂けるよう工夫しています。玄関先にはベンチや花壇があり、常にオープンです。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾り付け、家具の配置は利用者様と一緒に考え、利用者様がお自分の住んでいる家だという意識を高めてもらえるよう工夫しています。季節に合った飾り付けなど、利用者様と楽しく工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブル・廊下奥のベンチなど自由に移動し、仲の良い方同士で過ごす事が出来るようにしています。又、戸外に中庭や藤棚の下に椅子やベンチがあり、花を見ながら、ゆっくり休める居場所があります。		

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具を持ち込んで頂いている方もみえれば、認知度やADLの状態に応じてご家族と相談し、ベッドなどに変更したり、レイアウトを考えたりしています。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>季節によっては、開放できる窓は全開にし、空気の乾燥や気温に留意し、加湿器や換気扇を使用して調節しています。トイレは換気扇と消臭剤で悪臭が出ない工夫をしています。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレ、廊下などの居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしています。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>むやみに物を移動異動させない、馴染みのある言葉を選んで、トイレ・浴室・居室などに分かりやすい目印を作成し、利用者様の視線に合わせて取り付けてあります。</p>	○	<p>本人の状態を把握し、状況に合わせて環境整備に努めています。本人の不安材料を取り除き、力を取り戻せるよう試みしています。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>畑や花壇があり、野菜の収穫や畑作り・水撒き・手入れなど無理のない程度で、自由に参加して頂いています。又、中庭にはくつろいで外気浴に出られるようになっております。外庭には藤棚があり、涼を取りながら休憩できるようになっています。</p>	○	<p>畑や花壇作りなど、楽しみながら活動できています。車椅子の方も外の空気や、景色を楽しめるよう中庭を活用しています。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (2F)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・脳トレ、リハビリ体操を日々行う事で、活性努めると共に、囲碁、麻雀、パチンコ等、楽しく生活して頂くための支援をしています。
- ・利用者の方と畑で野菜を作り収穫を楽しんだり、新鮮な野菜を食べられます。
- ・外出と外食を楽しみ、普段では出ない献立（刺身など、生もの）を召し上がっておられます。
- ・花等を活けて頂いたり、生活歴を取り入れて喫茶店をして頂くなど、役割、自信を持って下さるよう支援しています。
- ・他のグループホームさんとの交流を行い、バスで花見や温泉に行くなどしています。
- ・近隣の子供達に毛筆を教えている利用者様があり、家族さんとの交流も促進しています。